

令和7年 第5回飯舘村議会定例会



令和7年6月議会定例会は、6月13日から20日までの日程で開かれました。一般質問は同17日・18日に行われ、村議員が村政の重要な課題等について村側の考えを質しました。

議案審議は20日に行われ、提出された議案はすべて原案どおり可決されました。

今議会で可決された議案など

飯舘村手話言語条例

飯舘村企業立地等支援基金条例

東日本大震災に伴う国民健康保険税の減免に関する条例の一部を改正する条例

東日本大震災による被災者が属する世帯の第1号被保険者に対する介護保険料の減免に関する条例の一部を改正する条例

令和7年度飯舘村一般会計補正予算

令和7年度飯舘村国民健康保険特別会計補正予算

令和7年度飯舘村介護保険特別会計補正予算

民事調停の申立て及び調停不成立等の場合における訴えの提起について

報告第1号 令和6年度飯舘村一般会計繰越明許費繰越計算書

紙面の都合上、一部省略しています。

村長村政報告

長泥地区関係

これまで解除に向けて協議を進めていました、堆肥製造施設及び外縁部除染済み農地の2部の62ヘクタールについて、3月31日午前9時に避難指示が解除されました。

また、避難指示の解除に伴い、資源活用型堆肥製造施設「イイタバイオテック株式会社」が4月1日より運営を開始しています。引き続き、長泥地区の全域の解除に向けて、尽力していきます。

5月23日に水稲にかかる作付けが長泥地区で再開されました。通常除染が完了し、各種対策が実施された約25アールの水田において、「里山のつづ」を作付けしています。

本年度の作付けで収穫される米は、全量全袋検査を経て出荷される予定です。また、当該地区の保全管理についても、地権者や地区の皆さまと協議しながら順次進めていきます。

ハシドラッグ飯舘店

本年3月27日に竣工式を行った村の商業施設で、5月29日に「ハシドラッグ飯舘店」がオープンしました。店舗では市販薬、生活雑貨、食品に加え、店内で調理した弁当など、およそ3万点の充実した品揃えとなっており、地元根差した運営として、スタッフも村内の方を雇用いただいています。

「ハシドラッグ飯舘店」のオープンにより、暮らしや買い物環境の向上、村内での雇用創出はもとより、ひいては村民の帰還や移住の促進につながり、村の賑わいを生む施設になるよう引き続き支援していきます。

企業立地関係

5月28日にCRSスポーツ工業株式会社と、立地協定を締結しました。

同社とは、令和6年7月26日に事業所の確保や労働力の確保、スポーツ振興などについて協力協定を締結していましたが、

今般改めて計画に基づく事業所の新設や労働条件の配慮など、立地や実際の事業活動が円滑に行われるよう相互協力に関する協定を締結したものです。

村民の帰還状況

5月1日現在の村への帰還者は628世帯、1178人で帰還率は約26.5%となっています。これに、転入者273人と「いたてホーム」の入所者等を合わせ、村内の居住者は811世帯、1510人となっています。

避難を継続している方は、県外避難者が140人、県内避難者は、福島市に1842人、南相馬市に262人、伊達市に228人、川俣町に205人、相馬市に115人など、合わせて2793人です。

健康福祉課関係

新型コロナウイルスワクチン接種関係について、令和6年度から65歳以上の方等に定期接種として行われており、引き続き全額

公費により助成しており、令和6年度は延べ517人に助成しています。

出産に対する支援について、安心して妊娠・出産・子育てができるよう妊婦や子育て世帯へ、国の支援制度である妊娠時5万円、出産時5万円を給付する「出産子育て応援交付金」と、村独自で出産時に支給する「赤ちゃん誕生祝金」20万円を支給しています。令和6年度は妊娠時6名、出産時7名の方に計65万円、併せて村独自の支援金「赤ちゃん誕生祝金」については、7名で計140万円を支給しています。

農政関係

水稲について、昨年度実績では18地区40経営体・約252ヘクタールの作付けでしたが、今年度は5月末時点のとりまとめで19地区36経営体・約305ヘクタールとなり、作付面積は約1.21倍に拡大する見込みです。品種は、例年のように「里山のつづ」「天のつづ」の他、「コシヒカリ」

「ひとめぼれ」「ヒメノモチ」「こがねもち」、飼料用米の「ふくひびき」と、多品種にわたります。

福島県オリジナル水稲もち米品種「あぶくまもち」について、今年度も種もみの確保と生産拡大を図っていきます。このため、5月には飯舘村あぶくまもち生産組合により、種もみ用と食用合わせて約24ヘクタールのほ場に田植えを行ったところで、今後秋の収穫まで生産組合が主体となり栽培管理を行っていただきますが、村も県協力のもと、支援を行いながら品質、収量を確保していきたいと考えています。

宿泊体験館きこり 農業研修館きこり

「きこり」の入浴施設の利用者数は、本年4月末時点で4万3693人、素泊まりの宿泊者数については、本年4月末時点で1万943人、また、令和6年5月1日から軽食を提供している「やまぼうし」の利用者数は、本年4月末時点で、2875

人となっており、村民の憩いの場、交流の場として多くの方に利用していただいています。

さらに令和6年7月1日にオープンした「きこり」の宿泊数は、本年4月末時点で260人でありました。今後も各施設の利用拡大に努めていきます。

建設課関係

村営住宅関係では、村内111戸中、現在の入居数は95戸150人で、約85%の入居率です。

長泥地区における帰還再生生活道路整備事業、いわゆる昇口舗装については、5か所について測量設計及び舗装工事を進めています。

村道・河川関係の維持管理では、引き続き村道の草刈り等、村道の維持管理及び橋梁の維持管理に努めていきます。

「農業基盤整備促進事業」による用排水路工事及び暗渠排水工事については、国からの指導により、既設の用排水路及び暗渠排水設備の機能診断を進めていきます。